

令和5年度 第1回柿崎区地域協議会次第

日時：令和5年4月18日（火） 午後6時～

場所：柿崎コミュニティプラザ 305～307 会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 会議録署名委員の指名

4 協議事項

- (1) 地域独自の予算事業の要求に向けた取組について・・・・・・・・・・資料1

5 報告事項

- (1) 柿崎区内の保育園の今後のあり方に関する意見書に対する回答について
・・・・・・・・・・資料2
- (2) 柿崎区地域協議会各種委員会からの活動報告・・・・・・・・・・資料3

6 その他

- (1) 第1回柿崎区地域協議会だより編集委員会の開催について
日 時：令和5年4月18日（火） 地域協議会終了後
会 場：柿崎コミュニティプラザ 3階 305～307 会議室
- (2) 第28回柿崎空き家活かそうプロジェクト会議の開催について
日 時：令和5年4月25日（火） 午後6時30分～
会 場：柿崎コミュニティプラザ 3階 市民活動室
- (3) 第2回柿崎区地域協議会の開催について
日 時：令和5年5月16日（火） 午後6時～
会 場：柿崎コミュニティプラザ 3階 305～307 会議室

7 閉 会

柿崎区における「地域活性化の方向性」

《柿崎区の地域活性化に向けて》

柿崎区の米山と日本海にいだかれた魅力のまちという強み（個性・特性）をいかして、三大薬師「米山」のブランド力を高め、地域を活性化します。

○構成要素

1	発信 <ul style="list-style-type: none"> ・米山・田んぼ・山からの景観、史跡などの魅力を「フォトコンテスト」等、SNS を活用して広く発信します。
2	交流・イベント <ul style="list-style-type: none"> ・米山の豊かな自然を生かして、キャンプ、グランピング、サウナなど若者と交流できるイベントを企画します。 ・伝統を大切に、「米山・柿崎」を掲げ、各地区のイベント、祭りなどの連携を推進します。
3	産業 <ul style="list-style-type: none"> ・米山の豊かな水を生かした、山・里・海の地産品ブランド力を高め魅力をアピールします。
4	暮らし <ul style="list-style-type: none"> ・米山と海に囲まれた自然の中で、子育て環境の充実、空き家の活用などを図ることで移住・定住を促進します。
5	文化 <ul style="list-style-type: none"> ・米山を核に史跡や伝統文化を発掘・継承し、広く発信するとともに郷土愛を育てます。
6	「米山・柿崎」ブランド化 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の活性化に取り組む旗印として「米山・柿崎」を掲げ、クラウドファンディング、企業の参加等を促進し、柿崎区の自治力を高めます。 ・米山・柿崎の親しみやすいロゴを作り、イベント・地産品に活用します。

柿崎区における「地域活性化の方向性」構成要素別提案事業

1 発信

- ・米山・田んぼ・山からの景観、史跡などの魅力を「フォトコンテスト」等、SNSを活用して広く発信します。

No.	提案事業
1	「フォトコンテスト」の開催。 →「賞」を作り評価する制度。 米山、史跡からの展望や祭、行事の状況を広く募集する。
2	「密蔵院」のアピール
3	柿崎公式インスタグラムで地域の風景を毎日発信する。 →同じ場所からの景色でも、日々、違った表情。地域の中学生や高校生が協力して柿崎区内の景色を撮影し投稿してもらい、インスタの管理者が毎日投稿する。学生は写真撮影を通して地元の魅力を再発見でき、遠方で暮らす方は柿崎の毎日の景色を楽しめ、愛着を持ってもらえる。
4	景観、史跡等を詠んだ俳句や短歌及び景観、史跡等写真の募集 →作品はSNSで発信するほか、行政やさまざまな団体とタイアップして、広報誌やお知らせに掲載してもらう。 子どもでも参加できるように小中学校に要請する。
5	柿崎で催される行事、祭り等をビデオで収録して駅等で放送する。
6	フォトコンテストで海に沈む夕日に限定した行事を行う。
7	米山からの日の出（写真）の展示
8	柿崎区観光協会HPと各種SNS（Twitter、Facebook、Instagram）を連動させて発信
9	個人が発信したくなるようなイベントを打つ
10	柿崎区独自のホームページを立ち上げる。
11	
12	

柿崎区における「地域活性化の方向性」構成要素別提案事業

2 交流・イベント

- ・米山の豊かな自然を生かして、キャンプ、グランピング、サウナなど若者と交流できるイベントを企画します。
- ・伝統を大切に、「米山・柿崎」を掲げ、各地区のイベント、祭りなどの連携を推進します。

No.	提案事業
1	交流やイベント開催の場所をつくる。 →キャンプ場の整備 柿崎時代夏まつり等のイベントの企画
2	地域体験と交流を合体させたイベントの企画 →海岸清掃、田植え・稲刈り体験をメインに、バーベキューや地産品料理をふるまう 交流企画を盛り込んだイベントを開催する。
3	各小学校の運動会等で踊られる十三夜等をビデオ等で放送する。また、東京柿崎会などの皆さんに見ていただく。
4	Sea To Summitを誘致する（カヌー、自転車、ランニング）
5	米山山岳マラソンを実施する。
6	柿崎バレーボール大会を実施する（女子大学合宿に合わせて）
7	柿崎納涼花火大会を山頂からキャンプ、グランピング、バーベキューをしながら鑑賞イベント
8	柿崎時代夏まつり等、各種祭り事業にてイベントPR
9	米山の山頂整備（キャンプ場等） レンタルテント
10	空き家を利用して海・里・山それぞれの地域に田舎暮らし体験宿を整備する。
11	
12	
13	

柿崎区における「地域活性化の方向性」構成要素別提案事業

3 産 業

・米山の豊かな水を生かした、山・里・海の地産品ブランド力を高め魅力をアピールします。

No.	提案事業
1	地元、J A、農業法人、生産組合などとタイアップして何をブランド化するか（米以外）に取り組む。
2	法人の誘致活動（製造業）
3	地産品販売の企画 →地元の市（いち）に出店するほか、直江津、高田、妙高の市（いち）に出店する。
4	お引上げのときに大出口、吟田川の水をペットボトルで販売する。
5	柿崎区内の酒造会社に柿崎時代夏まつりのときに販売していただく。
6	干し柿のブランド化
7	東横山の雪下人参や水野のソバなど柿崎区内で採れるもの？
8	柿崎川に鮭を放流、遡上させる。観光と産業化へ。
9	米山から流れる水源でつくる農作物をブランド化（米、野菜等）して、区内飲食店でメニューに加える。
10	各種祭り事業の露店販売（焼きそばの具材等、柿崎焼きそば等）
11	地産地消→カキソバ、ザキソバ
12	
13	

柿崎区における「地域活性化の方向性」構成要素別提案事業

4 暮らし

- ・ 米山と海に囲まれた自然の中で、子育て環境の充実、空き家の活用などを図ることで移住・定住を促進します。

No.	提案事業
1	遊具を設置したりドックランを造ったり、大型の公園を少し高い丘に建設しアピールする。
2	学生が仲間と集える居場所づくり →オーレンプラザや無印、柏崎のアルフォーレなどには、フリースペースがあり学生などが気軽に集まっている。以前、柿崎町民会館の閲覧室は、学生などが友達と勉強するために集まったり電車で帰宅した学生が親の迎えを待ったりできる場所であった。大人になっても地元に着愛着を持つためには、学生時代に仲間と楽しく過ごせる居場所が必要に思う。移住者に期待するより、今いる子どもたちのためになることを考えたい。
3	高速道路、国道、鉄道の交通網のほか、病院、学校、物品販売店など生活に必要な施設の状況の発信と次の取組の実施 →空き家をリフォームして売り出す。 企業団地や住宅団地を造成する。
4	柿崎区内に限定した空き家の利用、活用はできないか。空き家を活用してソバ店は。
5	空き家を再生し移住促進を図る。
6	空き家をリノベーションして、民宿、飲食店にする。 →プチリゾート化
7	空き家の利活用を推進する団体を設立し移住・定住を促進する。
8	
9	
10	
11	
12	

柿崎区における「地域活性化の方向性」構成要素別提案事業

5 文化

・米山を核に史跡や伝統文化を発掘・継承し、広く発信するとともに郷土愛を育てます。

No.	提案事業
1	各「城山」等の所在と行き方を明確にし、訪問者を増すため駐車場、山道を整備する。
2	郷土史（町内の史実）を語り合う会の実施 郷土（町内）の史実に基づく名所巡りの実施
3	楞巖寺、浄福寺、浄善寺、善導寺等の歴史、来歴を写真入りで発行し広く発信する。
4	城山を整備し各城跡を結んだレッキングコースMapを作成する。
5	各種祭り事業で、米山や柿崎区の歴史を発信しながら郷土愛を醸成する。
6	保育園、小学校、中学校での郷土愛を育む授業（出前授業）
7	観光ガイドを育成し史跡・文化・棚田等に来訪者を案内する。
8	
9	
10	
11	
12	
13	

柿崎区における「地域活性化の方向性」構成要素別提案事業

6 「米山・柿崎」ブランド化

- ・地域の活性化に取り組む旗印として「米山・柿崎」を掲げ、クラウドファンディング、企業の参加等を促進し、柿崎区の自治力を高めます。
- ・米山・柿崎の親しみやすいロゴを作り、イベント・地産品に活用します。

No.	提案事業
1	柿崎ICを活用し国道8号からの出入り可能な「柿崎道の駅」を造り各種イベントの実施や、米山を中心とした柿崎のアピールなど、地区全体で盛り上げる活動拠点とする。
2	ロゴマークの募集 →広報誌等で募集するほか、小中高等学校にも要請する。 地産品に活用するほか、マイカー、電化製品などの身近なものに貼られるようにロゴステッカーを作成する。
3	タオル、手ぬぐい、Tシャツ、お猪口等に米山、景家くん・花ちゃんを入れ販売する。
4	寄付金を一つに統一して各種イベントや行事に割り振る。 →寄付をしてもらった人や企業へのメリットを考える。 寄付したくなるようなイベントや行事を行う。 地元民割引 ふるさと納税品
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	

令和5年度 柿崎区地域協議会各種委員会名簿（案）

No.	氏 名	委員会名					備 考
		柿崎空き家活かそう プロジェクト	みんなの保育園を 考える会	地域活性化の方向性 作成検討会	地域協議会だより 編集委員会		
1	岩野 秀樹		○	○			
2	薄波 清美		○				
3	貝谷 雅子		○	○			
4	片桐 宏樹	○		○			
5	片桐 充	○		○			
6	小出 祥世	○		◎			
7	小山 慶		◎	○			
8	白井 一夫 (副会長)		○		○		
9	武田 正教		○		○		
10	中村 誠	○			◎		
11	蓑輪 和彦	◎			○		
12	吉井 一寛 (会長)	○			○		
13	吉村 正		○		○		

上保第 101156 号
令和 5 年 3 月 31 日

柿崎区地域協議会
会長 吉 井 一 寛 様

上越市長 中 川 幹 太
(保育課)



柿崎区内の保育園の今後のあり方に関する意見書について（回答）

令和 5 年 3 月 15 日付けで提出のありました意見書について、下記のとおり回答いたします。

記

市では、上越市保育園等の適正配置に係る計画（第 4 期）の策定に向け、令和 4 年度に保育園の現状と課題をまとめ、これを踏まえ、適正配置の基本方針を「安心して子育てができ、持続可能な保育環境を整える」と定めたところです。

令和 5 年度においては、この方針を踏まえて、適正配置の対象とする園やその方法を検討し、関係者との協議を経て適正配置計画を策定することとしており、柿崎区内の保育園の適正配置に関しては、貴協議会から提出いただいた意見書の内容を踏まえまして、関係する保護者や地域の皆様との協議を整え、第 4 期計画へ掲載することとしております。

なお、保育時間の拡大等の保育サービスの充実に関しては、保育園の適正配置とあわせて検討することとしております。

柿崎空き家活かそうプロジェクト 会議記録

日 時	令和5年3月27日(月) 18:30~20:15	出席者	片桐(宏)委員、小出委員、中村委員、吉井会長、 蓑輪
場 所	市民活動室		
記録者	蓑輪	欠席者	片桐(充)委員
標 題	第27回柿崎空き家活かそうプロジェクト会議		
<p>○本日のテーマ</p> <p>「地域の活性化を目的とした空き家利活用推進の具体案の検討」</p> <p>① 拠点整備の検討</p> <p>② 各担当委員からの報告</p> <p>■協議結果</p> <p>1 拠点の整備について</p> <p>(1) 担当委員からの拠点イメージの提示(資料に基づき説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家の利活用と移住、定住推進のワンストップ対応と、カフェやフリースペース等の交流(にぎわい)をつくり出すためのスペース運営を基本とした柿崎区独自の「上越・柿崎方式」の拠点を整備する。 ・空き家の利活用と移住、定住推進の情報収集、発信の取組の一部は行政と連携し、定期的に担当部署の職員が柿崎区の拠点に来て対応するといったサテライトオフィスのような機能があるものにしてはどうか。 ・空き家を活用して利活用のモデルとなる拠点事務所を整備するなど、民間が運営する拠点づくりを目指す。 ・上記の拠点運営を託す組織(団体)や、核(キーパーソン)となる人をどのようにして選定するかがポイントになる。 <p>(2) 検討結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域独自の予算の要求に向けて、地域協議会の役割は空き家利活用の事業の検討ではなく、事業を実施する受け皿(団体)を立ち上げること。 ・関係する団体からなる協議会(組合)を早急に立ち上げる。 ・空き家利活用に向けた事業や職員採用、予算立ては、立ち上げた協議会(組合)と総合事務所が検討し、必要であれば令和6年度予算に要求すればよい。 ・地域協議会としては、先進地視察の内容やこれまで積み上げてきた検討結果を提示し、必要に応じて提案や助言を行うこととする。 ・空き家利活用のための協議会(組合)の立ち上げを最優先課題に取り組む。関係団体を集め、地域協議会の考え、協議会(組合)設立の目的等を説明し、参加団体の理解を得て、協議会(組合)を立ち上げる。 ・次の説明資料を作成し、次回会議で内容を検討する。 <ul style="list-style-type: none"> ①協議会(組合)設立に参加してもらう団体の選定 ②協議会設立の趣意書、規約 ③地域独自予算書の提出に向けたスケジュール 			

2 各担当委員からの報告

- ・移住者の聴き取り調査は、今後少なくとも 10 件以上を目標に実施する。

3 次回の委員会開催予定

- ・日 時：4 月 25 日（火）午後 6 時 30 分～
- ・会 場：コミュニティプラザ 3 階 市民活動室
- ・議 題：①拠点整備の検討
②各担当委員からの報告

以 上